

# 被災労働者の早期職場復帰に向けた先導的医療の実践〈続き〉

## 「勤労者の罹患率の高い疾病の治療と職業の両立支援（両立支援／がん、糖尿病）」

（勤労者医療の実践に有用な情報提供）

◆がん及び糖尿病の治療と就労の両立支援をテーマとした「勤労者医療フォーラム」を開催。

11月12日開催 テーマ「がん患者の治療と職業の両立支援」：東京都渋谷区  
12月10日開催 テーマ「就労と糖尿病治療の両立」：名古屋市



**市民公開講座**  
参加無料

**がん患者の治療と職業の両立支援**  
2011年11月12日(土) 15:00~17:00  
こどもの城 8階研修フオー

基調講演1  
「乳がん 大腸がん 肝がんの治療と就労」

基調講演2  
「治療と職業の両立」と個人情報保護法  
～個人情報保護法と会社の健康配慮義務～

パネルディスカッション  
「何れまで上司に説明すべきか？ 患者の権利と義務」



**勤労者医療フォーラム**  
就労と糖尿病治療の両立

12月10日(土) 15時～18時40分

会場  
ミッドランドホール  
〒460-0001 名古屋市東区東桜1-1-1

主催  
日本医師会、日本糖尿病学会、日本労働組合総連合会、日本糖尿病学会、日本糖尿病学会、日本糖尿病学会、日本糖尿病学会

協賛  
日本医師会、日本糖尿病学会、日本労働組合総連合会、日本糖尿病学会、日本糖尿病学会、日本糖尿病学会

講演者  
山崎 隆夫、山崎 隆夫、山崎 隆夫、山崎 隆夫、山崎 隆夫、山崎 隆夫

講演内容  
1. 日本糖尿病学会、協会の取組  
2. 日本労働組合総連合会、協会の取組  
3. 厚生労働省の取組  
4. 勤労者医療連携推進に向けての取組

シンポジウム  
「就労と糖尿病治療の両立の現状」

1. 就労と糖尿病治療の両立の現状  
2. 就労と糖尿病治療の両立の現状  
3. 就労と糖尿病治療の両立の現状  
4. 就労と糖尿病治療の両立の現状

日本医師会、日本糖尿病学会、日本労働組合総連合会、日本糖尿病学会、日本糖尿病学会、日本糖尿病学会

独立行政法人 労働者健康福祉機構

勤労者医療フォーラム風景①  
(11月12日開催)  
※ 103名参加

勤労者医療フォーラム風景②  
(12月10日開催)  
※ 243名参加

### 1. 労災病院における産業医資格保有者数



#### ○労災病院における産業医資格保有者数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
産業医数	491人	486人	483人	485人
資格取得率	28.2%	27.4%	26.9%	26.4%



労災病院では、  
約3割が取得

#### ○労災病院における嘱託産業医数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
嘱託産業医数	153人	147人	146人	127人
派遣事業所数	192事業所	221事業所	228事業所	203事業所

## 2. 労災病院における産業保健の実践

症例を収集し、労災疾病に関する予防・診断  
法等の研究・開発



### 地域指定医療機関等への普及

#### メンタルヘルス対策の取組例

取組	実績 (16~22)
メンタルヘルス予防指導	31,269件
症例検討会	676件、10,917人
社会復帰に対する相談・指導	2,767件
産業医等に対する専門的相談	19,684件 (23年度)
企業に対する講演	1,861件

#### 過労死予防の取組例

取組	実績 (16~22)
症例検討会	171件、5,195人
社会復帰に対する相談・指導	4,054件

※参考：メンタルヘルス研究分野に関連する患者延べ数(16~22) 807,122人

# 労災保険給付に係る業務上外の決定等での医学的判断の基礎の提供 (鑑別診断、障害認定、業務上外、症状固定等の判断)

## 労災補償行政に対する労災病院の協力・関与

### 本省

#### 【ルールの設定と統括管理】

○判断基準の設定と見直し

#### 【主な実績】

石綿による疾病の認定基準に関する検討会（平成22年度）9名中、労災病院の医師2名が参画。

○特に困難な事案（基準未設定）の判断

#### 【主な実績】

電離放射線の業務上外に関する検討会（平成19～20年度）4名中、労災病院の医師1名が参画。

### 労働局

#### 【困難事案等の集中処理と給付の公正さの確保】

○労災診療費の的確な審査

#### 【主な実績】

労災診療費審査委員559人中、33名が労災病院の医師（平成23年度）

○困難事案に対する監督署の支援

#### 【主な実績】

地方労災医員634人中、81名が労災病院の医師（平成23年度）

### 労働基準監督署

#### 【国民サービスの窓口としての迅速・丁寧な対応】

- 相談・受付・請求勧奨
- 請求人に対する情報提供
- 請求された事案の調査・決定

#### 【主な実績】

医療機関に対する意見書（※）の作成依頼件数52,212件中3,292件が労災病院に対する依頼（平成21年度）

（※）意見書とは、請求者の傷病の状態について、主治医等から意見を聴取すること。

被災労働者等

# 研究成果等の普及・教育(地域の医療機関に対する支援) (労災指定医療機関との症例検討会)

## 研究成果の普及・教育(地域の医療機関の支援)

### 1. 労災指定医療機関との症例検討会

- 例えば、アスベストに係るレントゲンフィルムの鑑別方法といった診断法等を地域の労災指定医療機関等に普及

⇒平成17年～23年度実績 5,982件 148,042名



### 2. 地域の産業医育成への教育



- 医師会が開催する産業保健連絡協議会へ委員の派遣

⇒平成23年度実績 67名

- 企業を対象とした産業医活動の意見交換会等へ委員・講師の派遣

⇒平成23年度実績 25名

### 3. 他機関との連携

- 産業医科大学出身者 169名(平成23年12月1日現在) ⇒労災病院の医師の約10%が産医大卒

- 海外からの医師の受入 ⇒主な国: モンゴル、中国、韓国、ネパール、インド等  
受入人数: 38名(平成23年度)

内容: アスベストに関連する中皮腫や中皮腫の診断法の研修等

